

令和8年度秋季(10月)入学

大学院医学系研究科

滋賀医科大学・マレーシア国民大学国際連携  
エイジングサイエンス専攻博士課程

# 学生募集要項

(滋賀医科大学入学者用)

国立大学法人

滋賀医科大学

# 目 次

アドミッションポリシー等	1
--------------	---

## 学生募集要項

募集人員	2
入学時期	
出願資格	
出願手続	3
選抜方法等	6
合格者発表	8
入学手続等	
出願資格審査	9
個人情報の取扱い	10
学内の略図	11

## 滋賀医科大学・マレーシア国民大学国際連携

### エイジングサイエンス専攻博士課程の概要

目的	12
概要	
授業科目及び単位数表	
教員の主な研究内容等	
履修方法	
学位授与	
別表1 授業科目及び単位数表	14
別表2 教員の主な研究内容等	15

# アドミッションポリシー等

## アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

本専攻では、次のような人材を求めている。

1. エイジングサイエンスの領域において、科学の探究を通して医学・医療の進歩・発展に寄与し、社会に貢献したいという意欲を持つ者
2. 生命に対する尊厳の気持ちと多様性を尊重する姿勢を有する者
3. 国際的視野を持ち、日本やマレーシアを含むアジアにおいて、活躍しようという意欲を持つ者
4. 高齢化問題克服のための国際的なリーダーとして活躍しようという意欲を持つ者

## カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

次の4つの方針でカリキュラム・ポリシーを定める。

1. 医学研究者として必要な専門的知識と研究技術を学修する。
2. 医学倫理、生命倫理、研究倫理についての十分な知識と倫理観を学修し、自ら研究計画を立案し実行する。
3. 自国とは異なるアジアの国・民族の歴史や文化を学び、多様性を理解し受容する姿勢を涵養するとともに、国際共同研究の手法を学修する。
4. アジア地域における高齢化問題の現状について学修し、エイジングサイエンスに関する研究成果を国際学術誌に発表する。

## ディプロマ・ポリシー（課程の修了の認定に関する方針）

養成する人材像である「エイジングサイエンスの研究者として必要な専門的知識と研究技術を有するとともに、確固たる倫理観を身につけた国際的なリーダー」を踏まえて、下記の能力を有することを修了の要件とする。

1. 医学研究者として必要な専門的知識と研究技術を身につけている。
2. 医学倫理、生命倫理、研究倫理についての十分な知識と倫理観を身につけ自立して研究を遂行できる。
3. 異文化を受け入れる適応力と国際共同研究を進める実践力を備えている。
4. エイジングサイエンスについて、自立して研究を推進し、世界に向けて研究成果を発信することができる。

# 学生募集要項

## 募集人員

専攻	入学定員	募集人員
滋賀医科大学・マレーシア国民大学 国際連携エイジングサイエンス専攻	2	1  (滋賀医科大学を入学試験窓口とする学生)

(備考) 在職のままで就学を希望する社会人に対して、大学院設置基準第14条による『教育方法の特例』を適用し、「夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法による」教育を取り入れています。

## 入学時期

令和8年10月 (注意) 以降、本要項に記載のある日時はすべて日本時間による。

## 出願資格

1. 大学の医学部医学科、歯学部又は修業年限6年の薬学、獣医学を履修する課程を卒業した者及び令和8年9月までに卒業見込みの者
2. 外国において、学校教育における18年の課程(医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を含むものに限る。)を修了した者及び令和8年9月までに修了見込みの者
3. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程(医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を含むものに限る。)を修了した者及び令和8年9月までに修了見込みの者
4. 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程(医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を含むものに限る。)を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
5. 修士課程を修了した者又は修士の学位を有する者と同等以上の学力がある者で、大学の医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者等昭和30年4月8日文部省告示第39号及び平成元年9月1日文部省告示第118号により文部科学大臣の指定した者
6. 修業年限が6年の大学(医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程に限る。)に4年以上在学し、当該大学を卒業していない者であって、所定の単位を優秀な成績で修得したと本学大学院が認めた者
7. 外国において学校教育における16年の課程(医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を

含むものに限る。)を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程(医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を含むものに限る。)を修了した者、又は我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程(医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を含むものに限る。)を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者であって、所定の単位を優秀な成績で修得したと本学大学院が認めた者

8. 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学(医学、歯学又は修業年限6年の薬学、獣医学を履修する課程に限る。)を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和8年9月30日において24歳に達している者

- (注) 1. 社会人入学を希望できる者は、上記のいずれかに該当する者で、出願時に既に就業しており入学後も引き続き職業を有し、所属長から在職のまま就学することの承諾が得られる者とします。
2. 出願資格5から8のいずれかの出願資格により出願する者は、9ページ「出願資格審査」を参照してください。

## 出 願 手 続

### 1. 出願期間

令和8年5月28日(木)～6月3日(水) 消印有効

### 2. 出願書類の提出先及び照会先

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

滋賀医科大学 学務課入試室入学試験係 電話 077-548-2071 (直通)

### 3. 出願書類等(※は本学所定の用紙)

書 類 等			備 考
1	入学志願票	※	Form I
2	履歴書	※	Form II
3	志願理由書	※	Form III
4	研究課題及び研究計画		様式自由(A4判用紙により、英語で700～800ワード程度)
5	成績証明書		出身大学(学部)長が英語で作成し、厳封したもの。本学卒業(見込)者は不要です。なお、大学院修士課程修了(見込)者は、出身大学院(研究科)の長が作成し厳封した成績証明書も併せて提出してください。
6	卒業証明書又は卒業見込証明書		出身大学(学部)長が英語で作成したもの。本学卒業(見込)者は不要です。 なお、大学院修士課程修了(見込)者は、出身大学院(研究科)の長が作成した修了(見込)証明書のみを提出してください。
7	検定料納付確認書	※	入学検定料30,000円を、検定料振込用紙(本学所定の用紙)を使用し、令和8年5月13日(水)から6月3日(水)の期間に銀行で振込んだ後、収納印を受けた「振込金受領証明書」を貼付してください。

書 類 等		備 考
8	受験票・写真票 ※	写真（3か月以内に撮影した正面上半身、無帽、縦4cm×横3cmのもの）を写真欄に貼付してください。
9	受験票送付用封筒 ※	長形3号に宛先を記入し、410円分の切手を貼付してください。
10	あて名票 ※	合格通知を受ける宛先を記入してください。
11	所属長の受験許可書	現に大学院に在学中の者（令和8年9月までに修了見込の者は除く。）及び官公署、医療機関、会社等に在職中の者のみ。（本学に在職中の者は不要。） （ホームページに掲載の様式例参照）
12	英語能力証明書	出願時から遡って過去2年以内に受験した英語能力について、次のスコアまたは同等以上の資格を有する証明書類（控え）をご提出ください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・IELTS：Band 6.5 以上</li> <li>・MUET：Band 4.5 以上</li> <li>・TOEFL iBT：79 以上</li> <li>・Pearson Test of English：63 以上</li> <li>・Cambridge English Qualifications and Test：176 以上</li> <li>・実用英語技能検定：準1級以上</li> </ul>

- (注) 1 出願書類の Form I～IIIについては本学ホームページ (<https://www.shiga-med.ac.jp/admission/graduate/requirements>) からダウンロードしてください。
- 2 出願後における記載事項の変更は認めません。また、受理した出願書類は、理由のいかんにかかわらず返還できません。
- 3 出願資格審査を受ける場合、上記の出願書類等のうち当該審査のための申請書類と重複するものについては、合わせて1通（部）の提出で構いません。
- 4 出願書類に虚偽の申告をした者については、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。

#### 4. 出願方法

##### (1) 郵送の場合

出願書類等を取りまとめ、『書留・速達郵便』で送付してください。

##### (2) 持参の場合

3ページの「出願手続2の提出先」に持参してください。

受付時間は、土曜日、日曜日を除く午前9時から午後5時までです。

#### 5. 指導教員との出願前の相談（必須）

本専攻の指導を希望する教員（15～19ページ参照）と出願前に必ず相談をしてください。

その場合、本学の代表電話（電話 077-548-2111）を経由するか、あるいは直接、教員と連絡をとってください。

#### 6. 留意事項

- (1) 受験票は、令和8年6月22日（月）までに、志願者宛に発送もしくは電子メールで送付します。6月24日（水）までに到着しない場合は、3ページの「出願手続2の照会先」まで至急連絡してください。

(2) 障害を有する等、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性がある場合は、出願に先立ち3ページの「出願手続2の照会先」まで申し出てください。

(3) 入学検定料返還該当者への返還手続きについて

入学検定料返還の該当者は以下のとおりです。以下に該当しない者は理由の如何を問わず返還は行いません。該当する者は、3ページの「出願手続2の照会先」へ令和8年6月24日(水)までに申し出てください。

- ① 検定料を払い込んだが出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）者
- ② 検定料を誤って二重に払い込んだ者

## 選 抜 方 法 等

### 1. 選抜方法

入学者の選抜は、次のとおり第一次選抜試験及び、第二次選抜試験により実施します。  
なお、社会人入学希望者に対して別途社会人特別選抜は行いません。本試験にて選抜します。

#### 第一次選抜試験

令和8年度秋季（10月）入学 滋賀医科大学大学院医学系研究科医学専攻博士課程 先端医学研究者コースの入学試験を活用し、学力検査、面接及び出願書類を総合して選抜します。

#### 第二次選抜試験

第一次選抜試験の合格者に対して、アドミッション・ポリシーの下、第一次選抜試験の成績をもとに学力レベル、適正、英語能力などの総合評価及び、面接にて選抜します。

### 2. 学力検査等の日時・項目等

	月 日	時 間	学力検査等及び配点	
第一次選抜試験	7月2日(木)	10:00～11:30	外国語（英語）	120点
		12:30～13:30	医学・生命科学一般	120点
		14:00～	面接（個人）	*1
第二次選抜試験	7月14（火）*2	別途指定 *2	面接（個人）	100点 *3

\*1：第一次選抜試験において面接は、医学に関わる研究者になるにふさわしい資質や適性について段階評価を行い、総合判定に加味します。

\*2：第二次選抜試験の日程等については、第一次選抜合格者に後日郵送もしくは電子メールにてお知らせします。

\*3：第二次選抜試験において面接は、英語で実施し、高齢化に伴う医学的な問題に対応できる研究者となるにふさわしい資質や適性等について評価します。

(備考) 1. 学力検査に使用できるのは、黒鉛筆（シャープペンシル可）、鉛筆キャップ、鉛筆削り（電動式を除く）、プラスチック製の消しゴム、メガネ、時計（計時機能のみ）、目薬、ハンカチ、ティッシュペーパー（中身だけ取り出したもの）に限ります。

2. 「外国語（英語）」には、辞書（電子辞書類を除く）の持ち込みを許可します。ただし、医学辞書等は不可とします。

3. 「医学・生命科学一般」の出題範囲等については、本学学務課入試室 ([hqnyushi@belle.shiga-med.ac.jp](mailto:hqnyushi@belle.shiga-med.ac.jp)) にメールで必ず問い合わせてください。

メールの件名に「令和8年度秋季（10月）入学「医学・生命科学一般」出題範囲について」と記載してください。

メールの本文に「氏名、住所、電話番号、現在の所属」を必ず記載してください。

4. 出願資格6に該当し、認定された志願者は「医学・生命科学一般」に代えて「小論文」とします。
  5. 第一次選抜試験合格者が第二次選抜試験で不合格となった場合、本学大学院医学系研究科医学専攻博士課程先端医学研究者コースに入学できます。
3. 場所
- 滋賀医科大学（11ページの「学内の略図」を参照してください。）
- 詳細については、受験票送付時に通知します。

## 合格者発表

第一次選抜試験 令和8年 7月9日(木) 午前10時(予定)

第二次選抜試験 令和8年 7月末から8月上旬 (第一次選抜合格者に後日郵送もしくは電子メールにてお知らせします。)

本学ホームページ (<https://www.shiga-med.ac.jp/admission/graduate/result>) において合格者の受験番号を発表します。

なお、合否についての電話による問い合わせには一切お答えできません。

## 入学手続等

### 1. 日 時

#### ・郵送の場合

令和8年9月18日(金) 午後5時(必着)

郵送の場合は、令和8年9月16日(水)午後5時までに下記2へ連絡してください。

#### ・持参の場合

令和8年9月17日(木) 午前9時から午後5時まで

ただし、やむを得ない事情により上記指定日に手続ができない場合は、下記2へ上記時間内に連絡のうえ、令和8年9月18日(金)午前9時から午後5時までの間に手続を行ってください。

### 2. 手続場所(郵送先)

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

滋賀医科大学 学務課入試室入学試験係 電話 077-548-2071(直通)

### 3. 納付金等

(1) 入学料 282,000円

(2) 授業料 267,900円(後期分)

① 授業料の額及び納付の詳細については、第二次選抜試験合格者に別途通知します。

② 後期分の授業料は、口座振替又は本学所定の振込依頼書により令和8年11月中に納付していただくこととなります。

③ 授業料が在学中に改定された場合は、改定時から新しい授業料を適用します。

### 4. 納付金の減免等

入学料及び授業料には減免及び徴収猶予の制度があり、これに関する手続等については、合格者に別途通知します。

ただし、減免は予算の都合により、実施されない場合がありますので、学資金の計画を十分にご検討ください。

### 5. 提出書類等

入学手続に必要な書類やその他詳細については、合格通知書を送付する際にお知らせします。

### 6. 留意事項

(1) 入学手続には、受験票が必要ですので、紛失しないように注意してください。

(2) 上記の期限までに入学手続を完了しない場合は、入学辞退者として取り扱います。

## 出願資格審査

出願資格5から8のいずれかにより出願しようとする場合は、次により出願資格の認定を受けてください。

1. 申請書類(\*本学所定の用紙は、ホームページから様式がダウンロードしてください。

<https://www.shiga-med.ac.jp/admission/graduate/requirements>)

- (1) 出願資格5の場合は、下記の①から④
- (2) 出願資格6、7の場合は、下記の①から⑥
- (3) 出願資格8の場合は、下記の①から④及び⑦
  - ① 出願資格認定審査申請書（本学所定の用紙）
  - ② これからの研究課題及び研究計画（A4判用紙により、英語で700～800ワード程度）
  - ③ 成績証明書（出身大学(学部)長が日本語または英語で作成し、厳封したもの。なお、大学院修士課程修了(見込)者は、出身大学院(研究科)の長が作成し厳封した成績証明書も併せて提出してください。）
  - ④ 審査結果通知用封筒：長形3号封筒に住所・氏名を記載し、410円分の切手を貼付したもの
  - ⑤ 推薦書（出身大学（学部）長等が作成したもの。）
  - ⑥ 在学大学の教育課程表（写）及び授業計画書〔シラバス〕（写）
  - ⑦ 推薦書（研究所・医療機関等の指導者が作成したもの。）

2. 申請期間

令和8年4月22日（水）～5月8日（金） 午後5時（必着）

3. 申請書類の提出先

3ページの「出願手続2の提出先」と同じです。

なお、郵送する場合は『簡易書留郵便』とし、その封筒の表に「滋賀医科大学・マレーシア国民大学国際連携エイジングサイエンス専攻 出願資格認定審査申請書在中」と朱書きしてください。持参する場合の受付時間は、土曜日、日曜日、祝日を除く午前9時から午後5時までです。

4. 資格審査

資格審査は、提出された申請書類により行います。ただし、必要に応じ面接を行うことがあり、この場合は、改めて申請者に通知します。

5. 審査結果

審査結果の通知は、令和8年5月22日（金）までに、申請者宛に発送します。

出願資格「有」と認められた場合は、本要項に定める出願手続（3ページ参照）を行ってください。

## 個人情報 の 取 扱 い

本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報については、次のとおり取り扱いますので、予めご了承ください。

1. 個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人滋賀医科大学個人情報保護規程」に基づいて取り扱います。
2. 出願書類等に記載された氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用します。
3. 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料作成のために利用します。
4. 出願書類等に記載された個人情報は、入学者のみ①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。



# 大学院医学系研究科 滋賀医科大学・マレーシア国民大学 国際連携エイジングサイエンス専攻博士課程 概 要

## 目 的

大学院医学系研究科滋賀医科大学・マレーシア国民大学国際連携エイジングサイエンス専攻は、老化によって増加する認知症、がん、生活習慣病等の疾患の医学上の問題解決に向け、「エイジングサイエンスの研究者として必要な専門的知識と研究技術を有するとともに、確固たる倫理観を身につけた国際的なリーダー」という人材像を掲げて、高齢化に伴う医学的な問題に対応できる研究者を養成することを目的とします。

## 専 攻 の 概 要

滋賀医科大学・マレーシア国民大学国際連携エイジングサイエンス専攻は、2011年に学術交流協定を締結し、留学生の受入れや共同研究を行ってきたマレーシア国民大学(UKM)との交流を一步進め、両国の課題である高齢化に焦点を当てた教育が行われる専攻です。日本とマレーシアという、高齢化について異なる事情を有する両国で、基礎から最先端までの専門的知識と研究技術を医学・生命・研究倫理を含めて体系的に学修し、エイジングサイエンスの研究者として国際的リーダーとしての活躍が期待される人材を両大学で養成し、両大学が共同で学位を授与します(ジョイントディグリー・プログラム)。

なお、本専攻における学生指導、講義、学生のプレゼンテーションなどは英語を基本として行います。

▼滋賀医科大学で入学手続きをした場合の学修～修了イメージ



SUMS : 滋賀医科大学 (日本)

UKM : マレーシア国民大学 (マレーシア)

## 授 業 科 目 及 び 単 位 数 表

別表1「授業科目及び単位数表」参照。

## 教 員 の 主 な 研 究 内 容 等

別表2「教員の主な研究内容等」参照。

## 履 修 方 法

第1・2年次に、「基礎基幹科目」の必修科目を20単位及び選択科目から3単位、第3・4年次に「先端老化研究科目」の選択科目から7単位、合計30単位を履修します。

## 学 位 授 与

1. 学位の名称は、博士(医学)です。
2. 学位は、下記の条件を満たした者に、授与します。
  - ・4年以上在学すること(ただし、3年以上在学し、極めて優れた研究業績を上げ、所定の要件を満たし

た場合には在学期間が4年未満であっても学位を授与することがあります。)

- ・ 30単位以上（「基礎基幹科目」の各大学開設の必修科目10単位ずつと選択科目3単位、共同開設科目「先端老化研究科目」7単位）を修得すること
- ・ 必要な研究指導を受けること
- ・ 2年次に実施の研究基礎力試験（**Qualifying Examination: QE**）に合格すること
- ・ 4年次までに、原則ジャーナルサイテーションレポート（JCR）に収録され、投稿時のインパクト・ファクター（IF）が1.0以上である学術誌に公表済又は公表予定のエイジングサイエンスに関する筆頭著者である原著論文を提出し、審査を受け、最終試験に合格すること
- ・ 4年次までに、エイジングサイエンスに関する筆頭著者である原著又はレビュー論文をWOS（Web of Science）登録の学術誌に公表済又は公表予定であること
- ・ エイジングサイエンスに関する研究成果を少なくとも1つの学会で発表すること

## 授業科目及び単位数表

## 【授業科目】

科目 区分	授業科目名	授業を行う 年次	期別	単位数			必選別
				講義	演習	実習	
基礎 基幹 科目	医学総合特論	1-2	通年	3			必修
	研究手法概論	1-2	通年	4			必修
	医学・生命倫理学概論	1-2	通年	1			必修
	日本語と日本文化研究	1-2	通年		3		選択
	マレー語とマレーシア文化研究	1-2	通年		3		選択
	日本における老化学研究	1-2	通年			6	必修
	マレーシアにおける老化学研究	1-2	通年			6	必修
研 先 究 端 科 老 目 化	老化の病態科学と社会医学	3-4	通年			7	選択
	加齢神経科学	3-4	通年			7	選択
	加齢とがん	3-4	通年			7	選択
	加齢と生活習慣病	3-4	通年			7	選択

## 【修了要件単位数】

科目区分	単位数			備考
	必修	選択必修	選択	
基礎基幹科目	20	—	3	第1・2年次に、「基礎基幹科目」の必修科目20単位及び選択科目から3単位、第3・4年次に「先端老化研究科目」の選択科目から7単位、合計30単位を修得すること。
先端老化研究科目	—	—	7	
合計	20	0	10	

# 教員の主な研究内容等

2026年4月1日現在

主指導教員としての指導を希望する場合は、十分な事前相談が必要です。

所属	職名	教員氏名/主な研究内容
生命科学講座 (物理学)		
	准教授	<b>成瀬 延康</b> 1. ナノ物質や表面、バイオマテリアルの光物性研究 2. 回折法、顕微鏡法、分光法を駆使した材料物性研究 3. 地球環境科学、農業、防災、医療に資する物理研究 4. 科学教育に関する研究
生命科学講座 (化学)		
	教授	<b>古荘 義雄</b> 1. 超分子化学を基盤とする医用材料の開発 2. 新規な遺伝子ベクターおよびDDSの開発 3. 機能性高分子の設計と合成
	准教授	<b>森 康友紀</b> 1. 生体適合性高分子材料の開発 2. 機能性接着剤の創製 3. 二酸化炭素を用いた機能性高分子の合成
生命科学講座 (生物学)		
	准教授	<b>里岡 大樹</b> 1. 免疫代謝とレドックスシグナルによる自己免疫疾患制御の解明 2. CD8陽性制御性T細胞の分化機構の解明とその自己免疫疾患治療への応用 3. 非リンパ臓器特異的免疫反応機序の解明
生命科学講座 (数学)		
	准教授	<b>川北 素子</b> 1. 多数の有理点を持つ代数曲線の研究
医療文化学講座 (哲学・倫理学)		
	教授	<b>大北 全俊</b> 1. 生命倫理 (臨床倫理、研究倫理、公衆衛生倫理) の研究 2. ケア・責任概念の研究 3. HIV感染症をはじめとする感染症の倫理的課題に関する研究
医療文化学講座 (心理学)		
	准教授	<b>小島 隆次</b> 1. 空間認知と言語理解 2. 感性情報処理 3. 非言語情報認知
医療文化学講座 (英語)		
	教授	<b>加藤 穰</b> 1. 生命倫理に関する国際比較研究 2. 医学・看護英語教育に関する研究
解剖学講座 (生体機能形態学部門)		
	教授	<b>宇田川 潤</b> 1. 行動における脳内リン脂質の機能の解析 2. 胎生期環境が関わる非アルコール性脂肪性肝疾患の発症機構の解析 3. 手の構造と把握機能の研究
解剖学講座 (神経形態学部門)		
	教授	<b>勝山 裕</b> 1. 脳形態形成機構の解析 2. 幹細胞の維持と細胞分化機構の解析 3. 精神疾患モデル動物の解析
	准教授	<b>金田 勇人</b> 1. 老化にともなう幹細胞および組織の恒常性破綻機構の解析 2. 老年性疾患のバイオマーカーの探索 3. 脳形態形成機構の解析
生理学講座 (生体システム生理学部門)		
	教授	<b>小川 正晃</b> 1. 意欲、意思決定、注意を担う神経回路メカニズムの解明 2. 意欲、意思決定、注意に関わる神経活動の計算アルゴリズムの解明 3. 意欲、意思決定、注意が障害される精神疾患の病態理解・診断・治療に資するトランスレーショナル研究
生化学・分子生物学講座 (分子生理化学部門)		
	教授	<b>縣 保年</b> 1. エピジェネティックな遺伝子発現とがん化の制御機構 2. 染色体高次構造変化による遺伝子発現とがん化の制御機構 3. iPS細胞を用いたがん特異的T細胞の再生
	准教授	<b>伊藤 甲雄</b> 1. 癌特異的T細胞療法の確立 2. 癌の進展における間質細胞群の機能解析とその制御方法の樹立 3. 細胞接着を介した免疫細胞の機能制御

## 別表 2

2026年4月1日現在

主指導教員としての指導を希望する場合は、十分な事前相談が必要です。

所属	職名	教員氏名/主な研究内容
生化学・分子生物学講座（分子病態生化学部門）		
	教授	<b>扇田 久和</b> 1. がん、循環器疾患におけるシグナル伝達機構と遺伝子解析 2. 細胞接着の分子機構
	准教授	<b>佐藤 朗</b> 1. がん、炎症性疾患における異細胞間コミュニケーションとシグナル伝達機構 2. 霊長類循環器疾患モデルの作製とその病態解析
病理学講座（人体病理学部門）		
	准教授	<b>仲山 貴永</b> 1. 非浸潤性消化管癌の進展可能性についての研究 2. 合成致死に基づく抗腫瘍治療の研究
病理学講座（疾患制御病態学部門）		
	教授	<b>伊藤 靖</b> 1. インフルエンザウイルス及び新型コロナウイルスに対するワクチンおよび治療薬の開発 2. サルモデルを用いた遺伝子病と老化の研究 3. カニクイザルを用いた免疫反応の研究
	准教授	<b>石垣 宏仁</b> 1. 霊長類モデルを用いた病理学的、免疫学的研究（特に腫瘍、移植、感染症について）
病理学講座（微生物感染症学部門）		
	准教授	<b>巨部 幸博</b> 1. がん関連遺伝子の生理機能解析 2. 新規抗腫瘍活性成分の探索
薬理学講座		
	准教授	<b>大野 美紀子</b> 1. 多機能プロテアーゼによる心拍数制御機構 2. 急性冠症候群における新規バイオマーカーの有用性の検討 3. 巨核球成熟と血小板産生におけるプロテアーゼの役割 4. アルツハイマー病におけるプロテアーゼの役割
社会医学講座（衛生学部門）		
	特任准教授	<b>北原 昭代</b> 1. 作業関連性筋骨格系障害の予防 2. 障害者の安全衛生（二次障害予防） 3. 治療と仕事の両立支援 4. 障害者・情報弱者の社会的障壁と健康
社会医学講座（法医学部門）		
	教授	<b>一杉 正仁</b> 1. 交通外傷分析 2. 血栓症突然死の病態解析 3. 外因死の予防医学
	准教授	<b>中村 磨美</b> 1. 法医中毒、臨床中毒、濫用薬物の生理作用 2. 法医画像、死後CT 3. 新型コロナウイルスその他感染症による医療機関外死亡
呼吸器内科学講座（呼吸器内科）		
	准教授	<b>山口 将史</b> 1. 重症喘息の病態生理に関する研究 2. 慢性難治性咳嗽の病態生理と治療に関する研究
消化器内科学講座（消化器内科）		
	教授	<b>岩下 拓司</b> 1. 胆膵疾患に対する内視鏡的診断・治療 2. 胆膵悪性疾患に対する化学療法 3. 胆膵悪性疾患治療における栄養マネジメント
血液内科学講座（血液内科）		
	教授	<b>村田 誠</b> 1. 造血幹細胞移植における免疫応答の機序解明 2. 難治性血液疾患の予後因子の同定 3. 新規免疫細胞療法の開発
糖尿病内分泌・腎臓内科学講座（糖尿病内分泌・腎臓内科）		
	教授	<b>久米 真司</b> 1. 糖尿病性腎症の病態解明 2. 慢性腎臓病の病態解明 3. 腎病態栄養学

主指導教員としての指導を希望する場合は、充分な事前相談が必要です。

所属	職名	教員氏名/主な研究内容
脳神経内科学講座 (脳神経内科)		
	教授	<b>漆谷 真</b> 1. 筋萎縮性側索硬化症の分子標的治療 2. 神経変性疾患の細胞生物学的解析 3. 神経疾患の非侵襲的診断 4. 脳血管障害の分子病態解析 5. 神経リハビリテーションと脳機能画像解析
小児科学講座 (小児科)		
	教授	<b>丸尾 良浩</b> 1. 遺伝性黄疸の分子遺伝学的研究 2. UDP-グルクロン酸遺伝子多型と薬剤代謝に関する研究 3. 先天性甲状腺機能低下症の分子遺伝学的研究
	准教授	<b>柳 貴英</b> 1. 早産児遷延性黄疸の遺伝学的背景 2. 早産児ビリルビン脳症の遺伝学的背景
精神医学講座 (精神科)		
	教授	<b>尾関 祐二</b> 1. 統合失調症の病因、病態の検討 2. 抗精神病薬治療の循環器への副作用に関する研究
	准教授	<b>藤井 久彌子</b> 1. 統合失調症の病因・病態の研究 2. 不随意運動を伴う精神疾患に関する研究 3. 精神疾患合併妊婦の臨床研究
皮膚科学講座 (皮膚科)		
	教授	<b>藤本 徳毅</b> 1. 自己免疫性疾患における抑制性B細胞の研究 2. 皮膚悪性腫瘍の治療に関する研究 3. 先天性表皮水疱症の遺伝子治療 4. 自己炎症性疾患の発症機序に関する研究
心臓血管外科学講座 (心臓血管外科)		
	教授	<b>鈴木 友彰</b> 1. 冠動脈バイパスモデルの研究 2. 心臓大血管手術の長期予後の研究 3. 僧帽弁形成の術式および長期予後の研究 4. 急性大動脈手術の研究および長期予後の研究
呼吸器外科学講座 (呼吸器外科)		
	教授	<b>庄司 文裕</b> 1. 呼吸器悪性腫瘍に対する低侵襲手術の手技定型化に関する研究 2. ヒト細菌叢に着目した肺癌免疫微小環境調節の機序解明に関する研究 3. 肺癌患者における免疫栄養介入研究
整形外科科学講座 (整形外科)		
	准教授	<b>彌山 峰史</b> 1. 脊柱靭帯骨化の骨化形成メカニズムの解析 2. 靭帯肥厚の病態解析
脳神経外科学講座 (脳神経外科)		
	教授	<b>吉田 和道</b> 1. 動脈硬化の分子病態解析と非侵襲的画像診断 2. 脳動脈瘤の分子病態解析と非侵襲的画像診断 3. 脳血管障害の新規外科治療法開発 4. 脳血管障害の疫学
	准教授	<b>深見 忠輝</b> 1. 神経膠腫に対する集学的治療法の研究 2. 覚醒下手術の安全性及び危険性に関する研究 3. 内視鏡下手術による治療の適応に関する研究

## 別表 2

2026年4月1日現在

主指導教員としての指導を希望する場合は、十分な事前相談が必要です。

所属	職名	教員氏名/主な研究内容
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 (耳鼻咽喉科・頭頸部外科)		
	教授	<b>竹中 幸則</b> 1. 頭頸部癌における免疫チェックポイント阻害薬治療の予後因子、予測因子 2. 頭頸部扁平上皮癌亜型の臨床的特徴 3. 頭頸部癌扁平上皮癌に対する化学放射線療法の最適化
	准教授	<b>大脇 成広</b> 1. 音声障害に対する診断と治療 2. 頭頸部癌の診断と治療
産科学婦人科学講座 (母子) (母子診療科)		
	教授	<b>辻 俊一郎</b> 1. 帝王切開癒着症候群の病態解明と治療および予防法の開発 2. 周産期脳障害における病態解明と治療の開発 3. 子宮内膜症に関する研究 4. 精神疾患合併妊娠に対する臨床研究
泌尿器科学講座 (泌尿器科)		
	教授	<b>影山 進</b> 1. ロボット支援および腹腔鏡下手術に関する研究 2. 泌尿器癌に対する新規抗癌剤の創薬 3. 泌尿器癌のプロテオミクス研究
眼科学講座 (眼科)		
	教授	<b>澤田 修</b> 1. 硝子体内薬物動態の研究 2. 糖尿病黄斑浮腫に関する研究
麻酔学講座 (麻酔科、ペインクリニック科)		
	教授	<b>北川 裕利</b> 1. 心筋虚血再灌流傷害モニタリング法の開発 2. 麻酔・麻薬による心保護作用の解明
放射線医学講座 (放射線科、放射線部)		
	教授	<b>渡邊 嘉之</b> 1. CT、MRIを用いた神経疾患の病態解明、機能情報の画像下の研究 2. 人工知能の画像診断への応用 3. MRIを用いた生体内の流れの研究
	准教授	<b>園田 明永</b> 1. 動態X線解析を用いた拘束性肺障害、閉塞性肺障害における深呼吸時の気道径の評価 2. 動態X線解析を用いた拘束性肺障害、閉塞性肺障害における深呼吸時の肺野濃度の評価 3. 腎動脈周囲神経叢へのボツリヌス毒素を用いた高血圧治療方法の開発
歯科口腔外科学講座 (歯科口腔外科)		
	教授	<b>高岡 一樹</b> 1. 細胞老化関連分泌現象 (senescence-associated secretory phenotype : SASP) の骨微小環境への影響 2. 薬剤関連顎骨壊死動物モデルに関する研究 3. 顎骨再建と歯科インプラントによる咬合回復に関する研究
病理部		
	准教授	<b>森谷 鈴子</b> 1. 病理診断学 2. 乳腺・婦人科病理
救急集中治療医学講座 (救急・集中治療部、総合診療部)		
	教授	<b>塩見 直人</b> 1. 重症頭部外傷の集学的治療に関する研究 2. 脳死・脳蘇生に関する臨床的研究 3. 病院前救急診療体制の構築 4. 救急領域におけるエンドオブライフ・ケアの取り組み
	准教授	<b>辻田 靖之</b> 1. 過大侵襲時の心機能障害と不整脈に関する研究 2. 敗血症の臓器障害に関する研究 3. 心臓・血管原性ショックの疫学研究
臨床腫瘍学講座 (腫瘍センター)		
	教授	<b>醍醐 弥太郎</b> 1. 新規がん関連遺伝子の同定と機能解析による発がん機構の解明 2. ゲノミクス、プロテオミクス解析による体系的がん進展機構の解明 3. がんの新規分子標的治療薬 (低分子・抗体・核酸医薬) の開発 4. がんペプチドワクチンおよび免疫制御薬の開発とトランスレーショナルリサーチ 5. がんの個別化医療に向けたバイオマーカーと分子病態診断システムの開発とトランスレーショナルリサーチ 6. ヒト臨床試料のバンク構築と利活用による研究支援活動

主指導教員としての指導を希望する場合は、充分な事前相談が必要です。

所属	職名	教員氏名／主な研究内容
薬物治療学講座（薬剤部）		
	教授	<b>森田 真也</b> 1. 脂質トランスポーターおよび脂質代謝に関する研究 2. 脂質分析法の開発 3. 個別化薬物療法に関する研究
	准教授	<b>池田 義人</b> 1. 脂質トランスポーターに関する研究 2. 金属トランスポーターに関する研究
医療安全管理部		
	教授	<b>清水 智治</b> 1. 外科侵襲学に関する研究 2. 新しいエンドトキシン測定法の開発 3. 大腸癌・炎症性腸疾患の治療に関する研究
臨床研究開発センター		
	教授	<b>笠間 周</b> 1. 医療管理学 2. 医療系社会学 3. 心臓核医学を用いた病態生理学
医師臨床教育センター		
	教授	<b>川崎 拓</b> 1. 人工関節手術に関する研究 2. リウマチ性疾患の疫学調査 3. 運動器リハビリテーションに関する研究
神経難病研究センター橋渡し研究ユニット神経診断治療学部門		
	教授	<b>石垣 診祐</b> 1. 神経変性疾患・認知症の病態解明 2. 核酸医薬を用いた神経変性疾患・認知症の根本治療法開発 3. 摂食機能・高次脳機能指標、画像指標を用いた神経変性疾患・認知症のバイオマーカー開発
動物生命科学センター		
	教授	<b>依馬 正次</b> 1. 霊長類ES/iPS細胞に関する研究 2. 遺伝子組換えサル作製技術の開発とヒト疾患モデリング研究 3. 霊長類の初期発生・胎盤発生の研究 4. 血管新生の分子機構
	准教授	<b>守村 敏史</b> 1. 新規発光プローブによる抗小胞体ストレス薬の開発及び応用研究 2. TDP-43結合mRNAの翻訳産物に焦点を当てた孤発性筋萎縮性側索硬化症の細胞病態の解明 3. 病原関連変異APP遺伝子組換えアルツハイマー病モデルザルを用いた早期診断・治療法の開発
	特任准教授	<b>築山 智之</b> 1. 高品質な霊長類ES・iPS細胞の樹立 2. 次世代型の霊長類遺伝子改変技術基盤の構築
創発的研究センター挑戦的研究部門		
	特任准教授	<b>橋本 翔子</b> 1. アルツハイマー病モデルマウスを用いた病態形成メカニズムの解明 2. 酸化ストレスが脳の恒常性維持に及ぼす影響の解析
創発的研究センター先端医療研究開発部門		
	特任准教授	<b>山田 篤史</b> 1. 医療機器のための屈曲機構の研究開発 2. 軟性医療機器の研究開発 3. 軟性ロボット機構 4. 画像誘導手術
実験実習支援センター		
	准教授	<b>朝比奈 欣治</b> 1. 肝臓の線維化における肝星細胞の活性化機構の解明 2. 腹腔内における臓器表面中皮と腹腔マクロファージの相互作用 3. 膵臓がんにおけるマクロファージの役割
保健管理センター		
	准教授	<b>小川 恵美子</b> 1. 慢性閉塞性肺疾患（COPD）の病態解明 2. COPDコホート集団データを用いた臨床研究

## 別表2

2026年4月1日現在

主指導教員としての指導を希望する場合は、十分な事前相談が必要です。

所属	職名	教員氏名/主な研究内容
情報総合センター		
	教授	<b>芦原 貴司</b> 1. コンピュータシミュレーションによる不整脈治療の開発 2. 難治性心房細動アブレーション医療機器と新術式の開発 3. 生体医工学・in silico・人工知能等による循環器病態解明 4. ヒトiPS心筋細胞シートの循環器病治療・創薬への応用
	准教授	<b>本山 一隆</b> 1. 恒星の形成過程の研究 2. 星間ガスの進化の研究 3. ハイパフォーマンス コンピューティング
医学・看護学教育センター		
	教授	<b>伊藤 俊之</b> 1. 医学教育学
	教授	<b>向所 賢一</b> 1. 動物モデルを用いた胃・食道発癌に関する研究 2. 胆汁酸の発癌及び癌の進展に関する影響 3. 新しい3次元培養システムを用いた癌研究
NCD疫学研究センター予防医学部門		
	准教授	<b>門田 文</b> 1. 糖尿病・代謝性疾患・生活習慣病の疫学・予防医学 2. 循環器疾患・潜在性動脈硬化症の疫学研究 3. メタボロミクスによる認知症の解明
NCD疫学研究センター医療統計学部門		
	准教授	<b>原田 亜紀子</b> 1. 疫学研究における統計解析手法の開発 2. 健康・保健医療サービス研究のための統計解析手法の開発 3. 身体活動、加齢に関する疫学研究
IR室		
	准教授	<b>澤井 俊宏</b> 1. 非典型溶血性尿毒症症候群の診断と治療に関する研究 2. C3腎症の発症機構の解明 3. 補体制御異常症に関与する因子の探索
研究活動統括本部研究戦略推進室産学連携推進部門		
	特任准教授	<b>早川 晃一</b> 1. 平滑筋収縮の制御機構に関する研究 2. GPCRに対する創薬研究 3. 大学の知的財産マネジメントに関する研究



## 入学者選抜等に関する照会先

滋賀医科大学 学務課入試室入学試験係

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

TEL 077-548-2071

E-mail [hqnyushi@belle.shiga-med.ac.jp](mailto:hqnyushi@belle.shiga-med.ac.jp)

<https://www.shiga-med.ac.jp/>